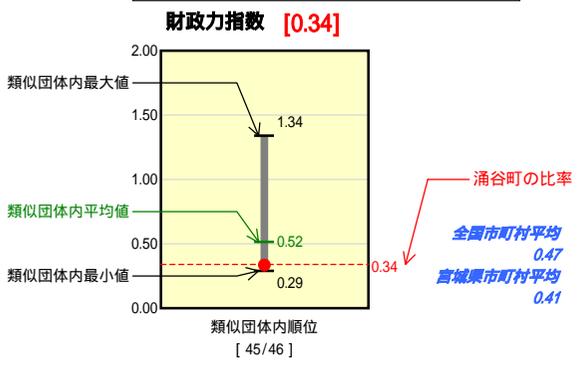


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

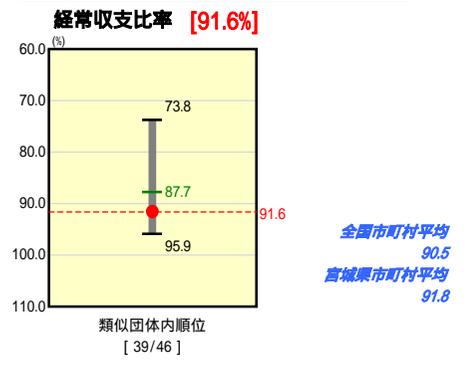
宮城県 涌谷町

人口	18,843 人(H17.3.31現在)
面積	82.08 km ²
歳入総額	6,440,898 千円
歳出総額	6,362,754 千円
実質収支	57,144 千円

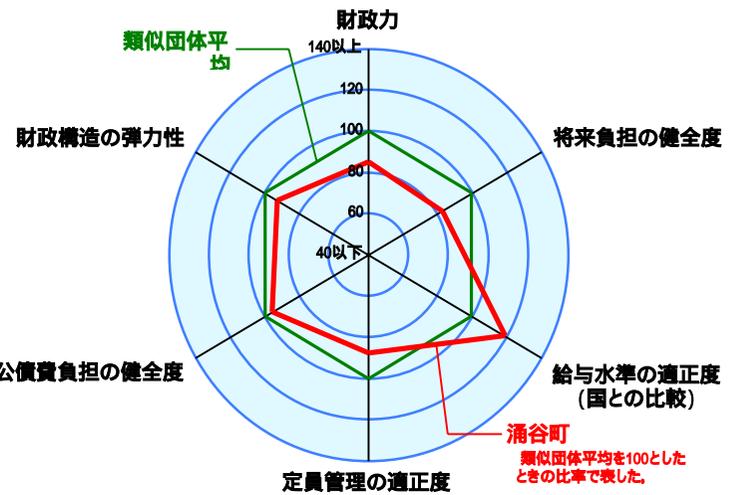
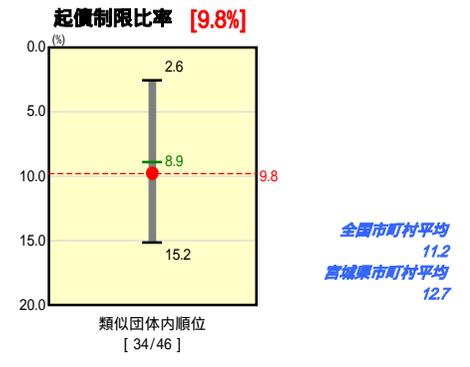
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析概

財政力指数

- 長引く景気低迷の影響により、平成10年度をピークとして、町税収入の減収傾向が続いており、合わせて都市部への人口流失による人口減や、少子高齢化に歯止めがからない状況下、財政力指数も平成13年度以降低下している。それらの状況を踏まえ、人口流失対策及び安定的な税収確保の観点からも、企業誘致等による雇用の確保及び税収につながる産業構造の確立を図り財政基盤の強化に努める。

経常収支比率

- 平成20年度まで公債費の償還のピークが続くことで、後年度計画事業については厳選して実施し、地方債の発行を抑制する。また、各種行政サービスについても国が指針とする基準に合わせ、受益と負担の適正化を推進する。

起債制限比率

- 普通建設事業について、緊急度及び住民満足度が低い事業は実施を先送りするなど地方債発行の抑制基調を継続する。

人口1人当たり地方債現在高

- 平成15年度をピークに減少しているが、依然として類似団体よりも高い水準となっている。地方債発行の抑制基調を継続することで、今後5～6年間を目標に現在の類似団体規模の水準まで引き下げるように努める。

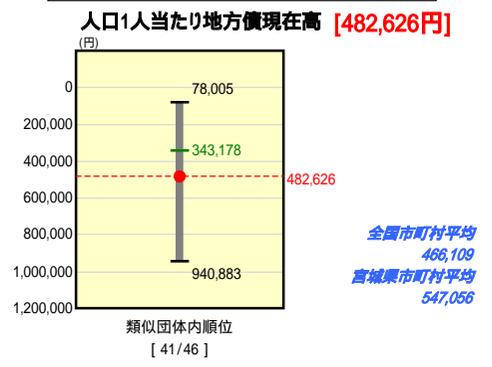
人口1,000人当たり職員数

- 病院、老健施設を抱えているため、類似団体と比較して上回っている。今後は、民間委託等を一層推進するとともに平成17年に策定した行政改革推進計画に基づき定員適正化計画を見直し、平成18年から平成22年までの5年間で16人の削減(削減率5.1%)を目指す。

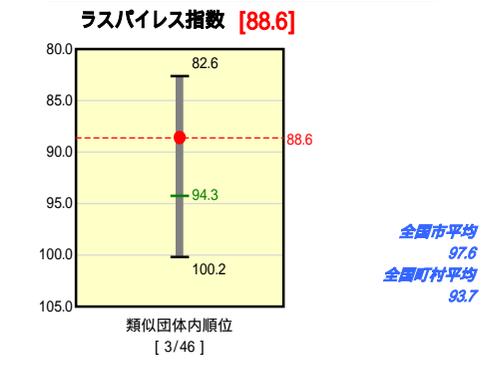
ラスパイレス指数

- 類似団体の中でも低い水準にある、また全国的にも低い水準にあるが、職務級間の水準にばらつきもみられるため、今後は更に給与の適正化に努めるとともに、引き続き緊縮に努める。

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

